

科目名	ロシア語5b A	単位数	1単位	学期	前期
担当教員	五井 ビクトリヤ		実務経験の有無		×
科目区分	カリキュラムマップを表示する	関連するディプロマポリシー			
ナンバリング	X-21-B-2-320222	国際学部B：高度な語学運用力をもって異文化理解の精神を研ぎ澄まし、国際社会において協調的にネットワークを拡張していく意欲と能力を身につけていること			
授業の目的	ロシア語1・2・3・4基礎文法の導入に引き続き、基本的な知識を整理し、発展させながらロシア語の運用能力を高めることを目的とする。特に語彙力、文法知識を体系的に整理することを目標とする。「話す」「聞き分ける」能力を身に付けるための訓練には十分な時間を割く。				
学修到達目標	ロシア語の高度な文法とロシアの知識を習得し、会話能力を身につけること。				
実務経験との関連性					

授業計画	
第1回	テキスト第37課 (1) 関係代名詞 <i>который</i> 朗読・会話・練習問題 復習時間1時間・予習時間1時間
第2回	テキスト第37課 (3) 再帰代名詞 <i>себя</i> 不規則動詞 <i>дать, есть</i> 朗読・会話・練習問題 復習時間1時間・予習時間1時間
第3回	テキスト第38課 (1) 関係代名詞 <i>кто, что, который</i> 代名詞 <i>тот, то, те, всё, все</i> 朗読・会話・練習問題 復習時間1時間・予習時間1時間

第4回	テキスト第38課 (3) называть/называться 不規則動詞мочь 朗読・会話・練習問題 復習時間1時間・予習時間1時間
第5回	テキスト第39課 (1) 名詞の從屬文 __, что / __, почему 朗読・会話・練習問題 復習時間1時間・予習時間1時間
第6回	テキスト第39課 (3) 名詞の從屬文 __, как / __, когда等 朗読・会話・練習問題 復習時間1時間・予習時間1時間
第7回	テキスト第40課 (1) 名詞の從屬文 __, хочет ли / __, понравилось ли等 朗読・会話・練習問題 復習時間1時間・予習時間1時間
第8回	テキスト第40課 (3) 不定代名詞кто-нибудь, что-нибудь, кто-либо, что-либо等 完了体 спросить 不完了体спрашивать 朗読・会話・練習問題 復習時間1時間・予習時間1時間
第9回	テキスト第41課 (1) 仮定法 если бы, мог бы, не пошёл бы等 朗読・会話・練習問題 復習時間1時間・予習時間1時間
第10回	テキスト第41課 (3) 仮定法 朗読・会話・練習問題 復習時間1時間・予習時間1時間
第11回	テキスト第42課 (1) 接続詞чтобы 朗読・会話・練習問題 復習時間1時間・予習時間1時間
第12回	テキスト第42課 (3) если бы у меня было много денег... 会話・チームワーク・ディスカッション 復習時間1時間・予習時間1時間
第13回	テキスト第43課 (1) 比較級 больше, интереснее 朗読・会話・練習問題 復習時間1時間・予習時間1時間

第14回	テキスト第43課(3) 最上級 самый большой, самый интересный 朗読・会話・練習問題 復習時間1時間・予習時間1時間
第15回	テキスト第37課～第43課復習 復習時間2時間
第16回	学期末テスト テスト時間2時間

授業時間外の学習	
【予習】時間・内容	前週配布資料の予習に30分を要する。
【復習】時間・内容	資料の不明点の復習に1時間30分を要する。

成績評価	
評価基準・方法	期末試験60%、小テスト20%、授業参加20%で評価する。
フィードバック方法	試験後に模範解答、講評を発表する。

アクティブラーニング	
実施の有無	○
実施内容	ディスカッション、ディベート/グループワーク
教科書/参考書	新ロシア語入門 Вводный курс русского языка NHK 出版 CDブック [著] 佐藤 純一
受講上の留意点等	
JABEE	

科目名	ロシア語5b B	単位数	1単位	学期	前期
担当教員	中谷 昌弘	実務経験の有無		○	
科目区分	カリキュラムマップを表示する	関連するディプロマポリシー			
ナンバリング	X-21-B-2-320222	国際学部B：高度な語学運用力をもって異文化理解の精神を研ぎ澄まし、国際社会において協調的にネットワークを拡張していく意欲と能力を身につけていること			
授業の目的	高度な語学運用能力を身に付けます。具体的には以下の通りです。 ロシア語4に引き続き同じテキストの37～43課をもって文法、語彙、会話法をマスターするように心がける。文法の練習問題などは教員が用意する。				
学修到達目標	関係代名詞や名詞の従属文（接続詞）について理解できるようになるとともに、比較級や最上級のつくり方と用法を習得することを目標とする（ロシア語5a, 5bに共通）。				
実務経験との関連性	これまでのロシア語新聞翻訳等の実務経験などを基に、文法だけでなく、ロシアの様々な歴史や文化についても指導する。				

授業計画	
第1回	第37課：関係代名詞 <i>который</i> (1)
第2回	第37課：不規則動詞 <i>дать</i> と <i>есть</i>
第3回	第38課：関係代名詞 <i>который</i> (2), <i>кто</i> , <i>что</i>

第4回	第38課：不規則動詞 м о ч ь 的变化と用法
第5回	第39課：名詞的従属文 (1)
第6回	第39課：本文
第7回	第40課：名詞的従属文 (2) および, 不規則動詞 х о т е т ь 的变化
第8回	第40課：本文
第9回	中間試験
第10回	第41課：крестьянинの複数变化, およびпогибнутьとумереть的变化
第11回	第41課：練習問題
第12回	第42課：послать的变化 деньгидの用法
第13回	第42課：本文

第14回	第43課：比較級のつくり方と用法
第15回	第43課：本文
第16回	ロシア語5B総まとめ

授業時間外の学習	
【予習】時間・内容	【予習】1時間：教科書あるいは配布資料の該当部分に目を通しておく。本文に関しては、併せて音読と訳出。
【復習】時間・内容	【復習】1時間：教科書あるいは配布資料の練習問題の復習。本文に関しては、音読。

成績評価	
評価基準・方法	授業参加（30%）、定期試験（70%）の評価。
フィードバック方法	定期試験は、授業中やポータル、掲示板にて平均点などを公表し、講評を加える。

アクティブラーニング	
実施の有無	○
実施内容	実習、実技、実験、フィールドワーク

教科書/参考書	佐藤純一著『新ロシア語入門』，NHK出版，2001年。
受講上の留意点等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・この授業では、前回の授業の復習をかねた小テスト（復習テスト）を授業の最初に実施します。この小テストは、あくまで出席を取る代わりに行われるもので、小テストの点数自体は成績には直接反映されません。前回の授業で自分がどのくらい理解したのかを知る目安にしてください。小テストの内容については、各授業の終わりに毎回指示します。なおこの小テストをもとに定期試験を実施します（試験時は持込み不可）。</li> <li>・欠席が三分之一以上になると受験資格がなくなります。なお2回の遅刻で1回の欠席とみなします。</li> </ul>
JABEE	